2026年11月18日

各　　位

会 社 名　スターシーズ株式会社
代表者名　代表取締役社長　鈴木 雅順
（東証スタンダード・コード:3083）
問合せ先　管理本部長　竹谷 治郎
（TEL.03-6721-5891）

株式会社イスズとのコンテナ型AIデータセンター事業に関する業務提携の基本合意書締結のお知らせ

当社は、2026年11月18日開催の取締役会決議により、株式会社イスズ（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：鈴木 修一、以下「イスズ」といいます。）との間で、コンテナ型データセンター（工場で製作したコンテナ筐体に電源・冷却・IT 設備を実装し、現地で据付・接続を行う方式のデータセンターをいい、以下同じです。）を用いた AI データセンターの設計・構築事業に関する業務提携（以下「本提携」といいます。）に関する基本合意書（以下「本合意書」といいます。）を本日締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、本合意書は2026年11月18日付で締結したものであり、有効期間は締結日から１年間（期間満了の１か月前までにいずれからも申出がない場合は、さらに１年間自動更新）としております。本合意書は両社の協業の枠組みと役割分担を定めるものであり、秘密保持等の一部の条項を除き法的拘束力を有するものではなく、個別案件の受注や取引を義務付けるものではありません。個別案件の内容・条件については、案件ごとに協議のうえ別途契約を締結したうえで実施いたします。

記

1. 本提携の背景及び目的

生成AIの急速な普及に伴い、学習及び推論に用いる高性能GPUの計算資源への需要は国内外で拡大を続けております。一方、国内におけるデータセンターの新設にあたっては、大容量電力の確保、適地の確保、建設期間の長期化と建設コストの上昇、電気工事技能者をはじめとする施工人材の確保、GPUサーバー及び周辺機器の調達といった複数の課題が重なっており、当社は、従来型の建屋データセンターのみでは拡大する需要に迅速に応えることが難しくなっていると認識しております。

こうした課題への対応策の一つとして、建設期間の短縮、段階的な増設、設置場所の柔軟性に優れるコンテナ型データセンターへの関心が高まっております。もっとも、コンテナ型データセンターを事業として提供するためには、コンテナ筐体及び電気設備の設計・製作・施工に関する能力と、GPUサーバーをはじめとするIT設備の調達・設計に関する能力の双方が必要であり、当社はこれらを一体で提供できる体制の構築が重要であると考えてまいりました。

イスズは、1974年の創業以来50年以上にわたり電気工事、再生可能エネルギー、建築工事を手掛け、神奈川県知事許可の電気工事業および建築工事業として公共・民間の大型工事に対応してまいりました。近年は、コンテナの設計・製作から電源設計、電気工事、電力申請、用地開発までを一貫して手掛けるコンテナ型・エッジ型AIデータセンターの構築事業に注力するとともに、太陽光発電や蓄電池を活用した直流給電システムの設計・施工にも取り組んでおります。

当社グループは、AI・GPU関連事業においてGPUサーバー等の調達・供給を手掛けるとともに、連結子会社であるスターシーズデジタル株式会社（以下「SSD」といいます。）を通じて、GPUサーバー、ストレージ、液冷システム、高速ネットワーク機器等を統合したAIデータセンター向けのIT設備の設計に関する知見を蓄積してまいりました。また、系統用蓄電池事業を通じて、電力接続、系統連系、蓄電設備の調達・施工に関する知見を有しております。さらに、2026年5月26日付「国内EMS企業とのAIサーバー生産体制及びAIインフラ供給体制の構築状況について」及び2026年10月５日付「加賀電子株式会社とのGPUサーバー等の委託生産協業に関する基本契約の締結について」にて公表いたしましたとおり、国内EMS企業への委託生産を含むGPUサーバーの国内生産体制の構築を進めており、2026年11月９日付「組織変更（AIクラウドサービス事業本部の新設）に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、GPUの計算資源をサービスとして提供するAIクラウドサービス事業の事業化に向けた準備を進めております。

両社は、イスズが有するコンテナ・電気・建築の設計施工力と、当社グループが有するGPUサーバー等の調達・国内生産体制、電力・蓄電設備及びIT設備の設計力が相互に補完関係にあることを確認し、電源からGPUサーバーまでを一体で設計・構築する、国内で設計・製作・施工するコンテナ型AIデータセンターの提供を通じて、日本のデータセンター構築が直面する課題の解決に取り組むことで一致し、本合意書の締結に至りました。

2．本提携の概要

本合意書に基づき、両社は主として以下の事項に取り組んでまいります。

(1) コンテナ型AIデータセンター標準モデルの共同開発

イスズが担うコンテナ筐体、受変電・配電設備および電気工事の設計と、当社グループが担うGPUサーバー、ラック、冷却、ネットワーク等のIT設備の設計を統合した標準モデルを、両社で共同して開発いたします。

(2) 役割分担に基づく一体提供

個別案件において、イスズはコンテナの設計・製作、電気工事、電力申請、用地開発及び現地施工を、当社はGPUサーバー等の調達・供給、周辺機器の調達、IT設備の設計・構築（SSDとの連携を含みます。）及び利用顧客の開拓をそれぞれ担い、顧客に対して一体で提供いたします。

(3) 共同営業・共同提案

データセンター事業者、不動産事業者、通信事業者、自治体、エッジ環境でAI推論を必要とする事業者等に対し、両社で共同して提案活動を行います。

(4) 直流給電及び蓄電設備の活用に関する検討

イスズの直流給電システムと、当社が系統用蓄電池事業で培った蓄電設備に関する知見を組み合わせ、エネルギー効率の高いAIデータセンターの構成について検討いたします。

(5) 国内一体生産体制に関する検討

当社グループが構築を進めるGPUサーバーの国内生産体制とイスズのコンテナ製作を連動させ、コンテナ内へのサーバー実装までを国内で完結させる生産体制の構築可能性について検討いたします。

なお、本提携に資本の移動は伴いません。また、具体的な案件、事業規模、受注金額、事業開始時期等については、案件ごとに両社で協議のうえ決定いたします。

3. 提携先の概要

(1)	名称	株式会社イスズ	
(2)	所在地	神奈川県川崎市中原区今井南町2-45	
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長　鈴木 修一	
(4)	事業内容	電気工事業、建築工事業、再生可能エネルギー設備の設計・施工、コンテナ型データセンター及び直流給電・蓄電設備の設計・施工、データセンター向け電源・用地開発	
(5)	資本金	2,000 万円	
(6)	設立年月日	1984 年5月（創業 1974 年7月）	
(7)	大株主及び持株比率	鈴木 和彦　43.00% 鈴木 美智子　18.50% 鈴木 修一　13.00% 坂本 いくこ　13.00% 森島 知子　12.50%	
(8)	上場会社と当該会社との関係	資本関係	該当事項はありません。
		人的関係	該当事項はありません。
		取引関係	該当事項はありません。
		関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

(9)　当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態

決算期	2024 年4月期	2025 年4月期	2026 年4月期
純資産	501,726 千円	518,918 千円	547,233 千円
総資産	1,633,190 千円	1,718,975 千円	1,721,248 千円
1 株当たりの純資産	2,508,630 円	2,594,590 円	2,736,165 円
売上高	1,236,701 千円	1,118,422 千円	1,418,586 千円
営業利益	66,108 千円	22,899 千円	38,843 千円
経常利益	40,674 千円	66,242 千円	37,155 千円
当期純利益	27,657 千円	17,191 千円	28,315 千円
1 株当たりの当期純利益	138,285 円	85,955 円	141,575 円
1 株当たりの配当金	－	－	－

4. 日程

(1)	本合意書締結日	2026年11月18日
(2)	本提携の開始日	2026年11月18日

5. 今後の見通しと業績への影響

本合意書の締結が2027年2月期の連結業績に与える影響は、個別案件の内容及び受注時期が未確定であることから、現時点では確定しておらず精査中であります。今後、個別契約の締結、具体的な案件の受注その他当社の業績に重要な影響を与える事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

本リリースに記載されている将来に関する記述は、本リリースの日付現在において当社が入手可能な情報、並びに合理的であると判断する一定の前提に基づくものであり、実際の結果は、事業環境の変化、

GPUサーバー等の調達状況、電力・用地に係る許認可の状況、個別契約の締結状況、案件の検討状況等の様々な要因により、記載内容と大きく異なる可能性があります。本提携に基づく個別案件の有無、内容、規模、時期等は現時点で決定しておりません。

以 上